

JRG3400N型 ミキシングバルブ×逆止弁 製品記号 JRG3400N-□ NEW

水道法性能基準適合品

※□内には設定温度および調整温度範囲により3桁の記号が入ります。

水道法性能基準適合品

JRGミキシングバルブとCS-7N型逆止弁を組み合わせた水道法性能基準適合品です。安定した温度の供給を得られると共に、給水側と出口側の安全を確保します。

※CS-7N型逆止弁の詳細は194頁をご参照ください。

■仕様

製品記号	呼び径	15	JRG3400N-910	JRG3400N-912	JRG3400N-914	JRG3400N-916
		20	JRG3400N-920	JRG3400N-922	JRG3400N-924	JRG3400N-926
		25	JRG3400N-930	JRG3400N-932	JRG3400N-934	JRG3400N-936
		32	JRG3400N-940	JRG3400N-942	JRG3400N-944	JRG3400N-946
		40	JRG3400N-950	JRG3400N-952	JRG3400N-954	JRG3400N-956
		50	JRG3400N-960	JRG3400N-962	JRG3400N-964	JRG3400N-966
標準設定温度		25℃	40℃	48℃	55℃	
調整温度範囲		20~30℃	30~45℃	36~53℃	45~65℃	
流体温度 (MAX) 注2.		65℃以下	80℃以下	85℃以下	90℃以下	
適用流体		温水・冷水				
適用圧力		1.0MPa以下				
温水・冷水の入口側圧力差		0.05MPa以下				
端接続		JIS Rcねじ(ユニオン継手)				
材質		本体(CAC)、要部(SUS・CAC・樹脂)				
本体耐圧試験		水圧にて1.75MPa				
取付姿勢		水平・垂直・横取付自由注3.				
付属品		温度調整用六角棒スパナ、保温カバー(ミキシングバルブ用)				

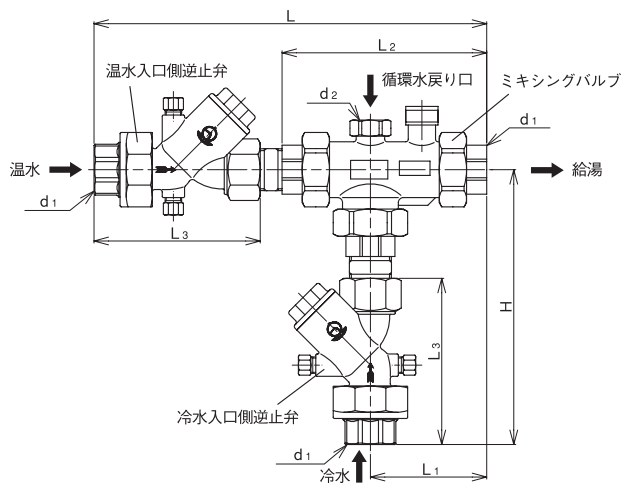
注1. 呼び径15には循環水戻り口がありません。

注2. 内蔵されているサーモエレメント部の耐温となります。特に温水側の温度にはご注意ください。

注3. 垂直に取付ける場合は下から上の流れ方向に適用。

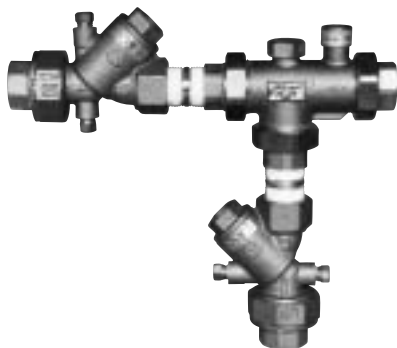
注4. 逆止弁の仕様は194頁をご参照ください。

■構造図



■寸法表

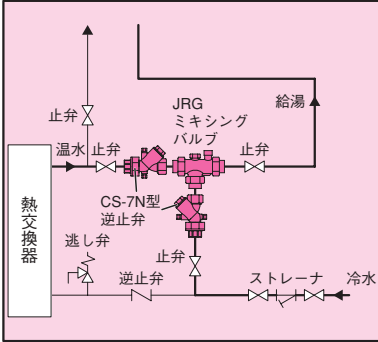
呼び径	d1	d2	L	L1	L2	L3	H	質量 (kg)
15	Rc1/2	—	298	76	129	122	222	2.5
20	Rc3/4	G1/2	318	81	139	135	237	3
25	Rc1	G3/4	333	92	158	134	239	5
32	Rc1 1/4	G3/4	367	105	182	149	262	7.5
40	Rc1 1/2	G3/4	408	122	210	162	287	10
50	Rc2	G3/4	468	143	245	187	324	15



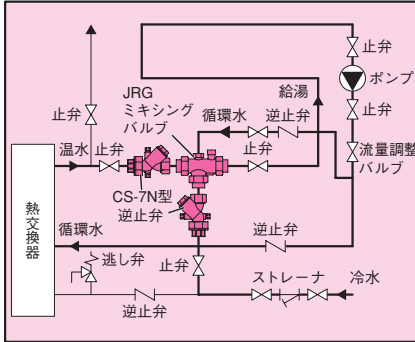
資料/JRG3400,3400N,3410型 ミキシングバルブ

■配管例

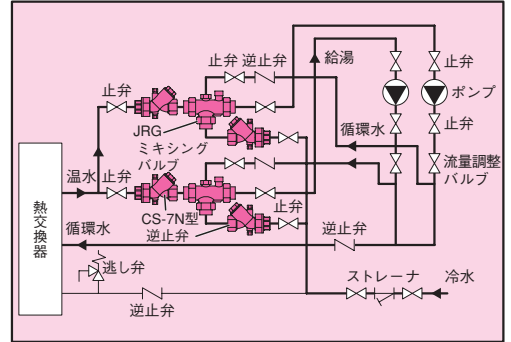
●単管式の例



■複管式(循環方式)の例



■複管式で2種類の給湯の例



注. システムの温水入口側に使用する逆止弁は、使用温度を考慮して選定してください。

■選定、設置上のポイント

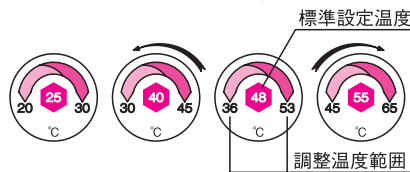
- 配管の錆が弁内部などに詰まると、温度調整ができませんので、配管は銅管やステンレス鋼管などを使用してください。
- ミキシングバルブを取付ける前に、配管接続に使用するシール剤や異物が入らないよう、配管の洗浄を十分に行なってください。
- 溶接などで配管接続する場合、高温による内部部品の破損防止のために、溶接中は弁を取外してください。
- 温水、冷水の弁入口側圧力は、減圧弁を設置するなどして、同じ圧力を供給するようにしてください。圧力差が大きくなると、低圧側が流入できず温度調整ができません。また、温水、冷水の圧力変動により、給湯温度が変動します。(温水、冷水の弁入口側圧力差は、0.05MPa以内としてください。)
- ミキシングバルブ(呼び径15を除く)を単管式の給湯システムに使用する場合、循環水戻り口は必ずキャップを取付けた状態としてください。
- 給湯側(混合水側)の管内温度が低下する場合や、凍結の恐れがある場合には、循環水の戻りを弁本体の循環水戻り口に接続してください。(呼び径15には循環水戻り口がありません。)
- ミキシングバルブは標準設定温度に調整された状態で出荷していますが、設定温度を変更する場合は、下記をご参照ください。
- ミキシングバルブは、冷水側が断水などで流入できない場合、温水側を閉止するよう動作しますが、温水を完全に閉止することは出来ませんので、温水の漏れ分が出口側に排出されます。この場合、僅かな量ですが、温水温度(熱水状態)で出口側に排出されますので、温度上昇に対する遮断装置や温水の供給温度を低めに設定するなどの安全対策を講じてください。
- 給湯(出湯)が、人に直接触れるような給湯温度の正確さが要求される用途(温水シャワーなど)の場合、給湯口の直前に別途、混合水栓を設置するなどして、希望の給湯温度を容易に調整できるようにしてください。(本ミキシングバルブを上流側に設置し、更に給湯口の直前に混合水栓を設置して、給湯温度を容易に調整できるようにする。)
※温水、冷水の圧力変動や、温水温度の変動により、給湯温度が変動しますので、安全対策を講じてください。
- 温水・給水系統への安全確保のため、ミキシングバルブの温水側・冷水側には逆止弁を設置してください。但し、逆止弁を垂直配管に設置する場合は、下から上への流れとしてください。当社推奨型式:CS-7N型(194頁参照)

■設定温度の変更

JRGミキシングバルブは標準設定温度に調整された状態で出荷しています。標準設定温度以外の設定は現地での調整となります。設定温度の変更は本体上部の調節ネジを操作することで簡単にできます。

標準設定温度	調整温度範囲
25℃	20~30℃
40℃	30~45℃
48℃	36~53℃
55℃	45~65℃

調整温度表示板



右回転: 給湯温度が上がる
左回転: 給湯温度が下がる

呼び径15~25: 六角棒5mm
呼び径32~80: 六角棒8mm

- 六角棒スパナを調整温度表示板の中に差し込み、右回転(時計回り)すると温水が増加し、給湯(混合水)の温度が上がり、左回転(反時計回り)すると給湯の温度は下がります。

- 設定温度の変更は、調節ネジを1/4回転ずつ回し、温度計を見ながら時間をかけて少しずつ行なってください。呼び径により異なりますが、調節ネジ1回転当りの温度変化の目安は約5~8℃です。

